

緑の風 FAX版

NO. 63

2015年5月12日

JR東労組
本部情宣部

たしろかおる参議院議員 国土交通委員会で質問を行う！



5月12日、参議院国土交通委員会でたしろ参議院議員が質問に立ちました。

冒頭たしろ議員はネパール大地震に触れ、アフガニスタンでの体験から医療支援の必要性、そして東日本大震災時の恩返しとして日本も復興支援をしなければならないと訴えました。

質問は主に「水防法改正」「JR北海道への支援」「JR貨物への支援」に関して行いました。具体的には、首都直下型地震に備え、防災・減災の観点から地下鉄の浸水対策や地下鉄会社と駅ビル事業者との連絡体制の整備を急ぐこと。そして水防力低下への対処方、都市農地の保全、汚水処理対策、下水道処理の安定的な運営を求めました。

これに対して、太田大臣は「雨も激甚化しており、ターミナル駅周辺の下水道の整備や最大規模の水害による浸水区域を想定した避難態勢の充実強化、防災訓練や教育など、ハード・ソフトにわたる対策が必要」と答弁しました。

また、物流を含めた輸送体制の確立と地方創成との関係で、JR北海道への支援を要請するとともに、JR貨物に関しては、輸送障害時に旅客優先ダイヤとなり商品力の低下を危惧する声なども紹介し、厳しい環境にある中で、経営基盤の確立に向けて奮闘しているJR北海道とJR貨物の現場の声を国政で訴えました。

太田大臣からは「JR北海道に必要な支援はしていく。社員の意識改革は進んでいる、鉄道マンは止めたくない意識が強いため『止める勇気が必要』と常に指示している」と、現場主義の観点をふまえた上で、鉄道の安全を国土交通省と共につくっていく決意が述べられました。

**次回、5月14日(木)11時25分～(30分間)国土交通委員会で質問を行う予定です！
参議院HP「審議中継」を見よう！**